

2026年2月3日

豊岡・城崎視察

1. 目的および概要：

観光委員会では、沖縄観光の持続可能な発展と収益力強化を目的に、地域資源を活かした高付加価値観光、観光DXの推進に関する調査研究として「豊岡・城崎視察」を実施した。視察では、芸術と観光を融合した人材育成を行う芸術文化観光専門職大学、外湯文化を核とした回遊型観光を展開する城崎温泉街、文化芸術による交流創出を担う城崎国際アートセンター、観光戦略とDXを推進する豊岡観光イノベーションを訪問し、持続可能な観光地経営の先進事例について理解を深めた。

2. 期間：2026年1月26日（月）～27日（火）

3. 参加者8名

NO	職名	氏名	会社名	役職
1	副代表幹事	前田 貴子	株式会社ゆがふホールディングス	代表取締役社長
2	観光委員長	喜久里 忍	琉球セメント株式会社	代表取締役社長
3	組織拡大・交流委員長	小林 文彦	川崎重工業株式会社沖縄支社	上席主幹
4	常任幹事	中島 秀昭	三菱商事株式会社 那覇支店	支店長
5	常任幹事	山根 錦司	住友商事九州(株)	沖縄支店長
6	正会員	宮田 直大	三菱電機(株)沖縄支店	支店長
7	事務局	島田 尚昭	沖縄経済同友会	事務局長
8	事務局	新垣 源	沖縄経済同友会	研究員

4. 視察行程

沖縄経済同友会 令和7年度 観光委員会 豊岡・城崎視察

日付	時間	行程	食事	宿泊地		
2026年 1日目 1月26日 (月)		<p>■参考便</p> <p>★JAL利用</p> <p>7:15 那覇空港 発 日本航空 (JAL) 002便にて関西空港へ (9:05 着)</p> <p>★ANA利用</p> <p>7:30 那覇空港 発 全日本空輸 (ANA) 1732便にて関西空港へ (9:20 着)</p> <p>9:40 関西空港へご集合</p> <p>10:00 ~バス移動~ (赤松PAにて途中休憩あり)</p> <p>12:55 12:55~13:40 昼食@道の駅ようか但馬蔵</p> <p>14:10 豊岡グリーンホテルモーリス (豊岡宿泊者・荷物預入)</p> <p>14:20 14:20~15:20 視察①: 芸術文化観光専門職大学 (60分)</p> <p>15:45 城崎温泉旅館 赤石屋 (城崎宿泊者・荷物預入)</p> <p>※以下、徒歩移動</p> <p>16:00~16:40 視察②: 城崎温泉街視察 (40分)</p> <p>16:40~17:40 視察③: 城崎国際アートセンター (60分)</p> <p>18:10 城崎温泉旅館 赤石屋 (チェックイン)</p> <p>18:30 18:30~20:30 夕食懇親会@城崎温泉 をり鶴 (120分)</p> <p>豊岡宿泊者 城崎温泉駅 21:33発 (最終)、豊岡グリーンホテルモーリス着 21:50</p>	<p>昼食</p> <p>夕食</p>	豊岡・城崎		
	2日目 1月27日 (火)		<p>(ホテル朝食)</p> <p>8:25 豊岡グリーンホテルモーリス宿泊者 ~出発~</p> <p>8:55 城崎モータープール (城崎宿泊者合流・荷物をバスへ預け、文芸館へ移動)</p> <p>9:00~12:00 視察④: 城崎文芸館 (180分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡版DMO「豊岡観光イノベーション」について ・インバウンドの取り組みについて ・観光DXの取り組みについて <p>12:15 12:15~13:30 昼食@お食事処山よし</p> <p>13:30 ~バス移動~ (赤松PAにて途中休憩あり)</p> <p>16:15 解散① (ポートアイランド内・ポートライナー駅近くにて)</p> <p>16:30 解散② (神戸空港)</p> <p>■参考便</p> <p>★ANA利用</p> <p>17:30 神戸空港 発 全日本空輸 (ANA) 2529便にて那覇空港へ (19:50 着)</p> <p>※JAL便は運航しておりません。</p>		<p>朝食</p> <p>昼食</p>	

※上記日程は天候や交通状況、運送機関のスケジュール変更などにより変わる場合がございます。

【宿泊予定ホテル】

日程	ホテル名	住所	電話番号
1日目	豊岡グリーンホテルモーリス	兵庫県豊岡市千代田町6-32	0796-23-5551
	城崎温泉旅館 赤石屋	兵庫県豊岡市城崎湯島786	0796-32-3333

沖縄経済同友会 事務局作成

5. 視察先

① 兵庫県公立大学法人 芸術文化観光専門職大学

芸術・文化・観光を融合した人材育成の実態および地域経済への波及効果を把握し、産学連携や地域活性化への活用可能性を探ることを目的として、芸術文化観光専門職大学を訪問した。

本訪問では、野崎律男氏（地域リサーチ&イノベーション推進部 地域推進課 課長）より、大学の概要に加え、「系統学修」と「実践学修」を往還する教育手法である「ラーニング・ブリッジング」について説明を受けた。

その後、舞台設備を備えた劇場やスタジオ等の施設および授業風景を見学し、学生が舞台運営の裏方業務から企画・プロデュースまでを主体的に担う実践的な教育が行われていることを確認した。また、地域貢献活動の取組についても説明を受けた。



② 城崎温泉街視察

城崎温泉街の観光資源の活用状況や街づくりの取組を実地で把握し、地域経済の活性化および持続可能な観光振興に向けた示唆を得ることを目的として、城崎温泉街を視察した。

本視察においては、株式会社湯のまち城崎 事務局長の黒田慎吾氏より、城崎温泉街の歴史や外湯巡りの文化、観光資源の活用について説明を受け、「宿に内湯を設けず、温泉街全体を一つの大きな宿と捉える」という思想のもと、旅館・商店・住民が一体となって育んできた独自の温泉文化について理解を深めた。



③ 城崎国際アートセンター

文化芸術を起点に人材誘致や滞在型消費を創出し、地域経済を活性化する仕組みや、その運営手法および官民連携の在り方を学ぶことを目的として、城崎国際アートセンターを訪問した。

本訪問においては、城崎国際アートセンター館長の志賀玲子氏より、施設の概要やアーティスト・イン・レジデンスの仕組みについて説明を受けた後、スタジオやレジデンス施設、キッチン等を見学し、芸術創造活動を支える体制について理解を深めた。



④ 一般社団法人 豊岡観光イノベーション

観光を通じた地域経済活性化の先進事例を学び、データに基づく誘客戦略やインバウンド対応、地域連携、収益化の仕組みなど、持続可能な観光まちづくりの実践について理解を深め、自地域の観光戦略および産業振興に活かすことを目的として、豊岡観光イノベーションによる研修を受講した。

本研修では、はじめに豊岡版 DMO である「豊岡観光イノベーション」およびインバウンド施策の取組について、岡本 環氏 (DX グループ長) より説明を受けた。続いて、観光 DX の具体的な取組内容について、一幡 堅司氏 (DX グループリーダー) および津留 もな実氏 (DX グループ) より説明を受け、地域一体となったデータ活用による観光施策の推進や業務効率化の事例について理解を深めた。



今回の視察にあたり、視察受入先の皆様には多大なるご支援・ご協力をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。